



連休 楽しい連休をすごしましたか

連休明け、元気よく学校で過ごす姿が見られて良かったです。



なぜテストをするのか

4月17日に6年生は全国学力学習状況調査（学調）、4・5年生にはみえスタディチェック（みえスタ）が行われました。タブレットと紙の問題用紙を使い分けるのに手こずっていた児童が多いようでした。

テストは他人と比較して学力の順番をつけるためにしているものではありません。テストの点が良いから頭が良いとか、解けなかったら頭が悪いとか言うことがあってはいけません。テストの目的は自分がどこまで理解できているのか、何が分からなくてつまづいているのか、自分の課題をみつける事にあります。そして以降の学習にいかすことが本当のテストの目的です。

“学調”も“みえスタ”も考える力をもとめています。丸暗記では解けない問題が重視されています。丸暗記の知識はネットなどを使えばいくらでも取り出すことが出来ます。それよりも様々な情報を組み合わせて自分の考えをまとめたり、問題文の中から課題を読みとって答える力などが必要になっています。だから、問題の意味を読みとることが今までよりむずかしくなっています。逆に解き方を暗記して答えられる問題は少なくなっています。

そのためにも、けてぶれスタイルの自主学習が有効だと考えています。テストを受けて課題を見つけ、つぎの学習につなげることで学力を高めていきましょう。

自主学習 【テ】テストは自分でしても良い

学校で行うテストを目標に自主学習にとり組みますが、自分でテストをしても良いのです。例えば1日に1つずつ漢字を覚えるという計画を自分で立てたなら、自分でテストを用意しておいて、その日の寝る前や次の日の朝、自分で覚えているかテストをしてみても良いのです。あるいは、もっと簡単にじっと見つめて覚えたら、1分後に書いてみるというテストでも良いのです。お母さんにテストをしてもらったという子もいます。テストが出来なかったからと言ってがっかりする必要はなく、次に覚えるよう練習すれば良いのです。

自主学習 【ぶ】 分せき

以下のような自主学習をしている学級もあるので一つの例として紹介します。
まずは予告なしで、ぬきうち小テストを行いました。その結果多くの子どもは思ったように点数がとれなかったようです。なぜだろうと考えたとき当然、準備が出来ていなかったからだという話になりました。ではどんな準備をすれば良いのか、小テストの裏に書き込んで考えました。

4 / 2 2 小分せき

(+) 良かったところ

- ・最後まであきらめずにできた
- ・思っていたより分かっていた (笑)
- ・今の自分の力を全部出せた
- ・○コは正解できた

(-) 頑張るところ

- ・もうちょっとていねいに書きたかった
- ・みなおしが出来ていなかった
- ・○○点はくやしい

→これからどうするか

- ・早めに自主学をする
- ・わからなくても書くようにする
- ・不安な漢字は自主学で完ぺきにする
- ・何回も読んで覚える方法をたためす
- ・今進めている自主学を頑張る
- ・次は100点取りたいけど最低でも90点めざす

頑張れた、良かったこと、きっとたくさんある

100点だったならなぜ100点取れたか、もっとがんばれることはあるか考えてみよう

うまくいかなかった理由を具体的に考えよう

具体的な目標にしましょう
つぎのテストの目標点数を書いても良い

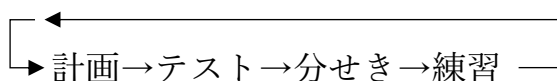
この用紙を記入した後で、班ごとに内容の交流をしました。一週間後の小テストに向けての計画と学習にいかします。今は、はじめなので学級全体で行っていますが今後は分析表を自分でつくって学習を進めるようにします。

また、他の学年や教科でも記入の仕方や、とり組む内容に違いはありますが、自分で計画して、自分で分析する自主学習を進めていきます。

自主学習 【れ】 練習 これまでの宿題は「練習」だけだったかも知れません

分析をした後すぐに、書けなかった漢字を練習している児童がいました。私の経験からもテストをしてすぐが一番効果が高いように思います。ただし、量が多くなると、その場だけでやることはむずかしくなりますので、課題が多く残らないように事前に学習しておき、残りは家で行うようにすると良いです。

～けテぶれ～



このくりかえしで学習を進めることが出来るようになることをめざしています。また、課題を自分で決めて自主学習に取り組めるようになれば、ますます学力を高めることが出来ると思います。保護者の応援がはげみになりますので頑張っているところをみてあげてください。